

事業名【担当課】

9.リリモテラス事業【たつせがある課】

全体に対する意見・提案等

リリモテラス公益施設は、デザイン性のあるゆったりとした空間と新しい感覚を持つユニークな施設で、4つのテーマを掲げたイベントの定期的な開催や、長久手中央2号公園のリニューアルオープンも伴って、子育て世代を中心に人々がくつろいだり、子どもたちが楽しんだりする場を提供してきたという意味において、その功績を評価することができる。

リリモテラスの有効活用には、リリモテラス運営協議会、指定管理者、市の連携が重要である。リリモテラス運営協議会はそれぞれ目的が異なる4団体の代表者会議であり、指定管理者は市から委託を受けてイベントの企画・運営を主導する立場である。そのため、調整役である市が両者をうまく先導して管理を進めていただきたい。

第5次長久手市総合計画の主要プロジェクトであるリリモテラス構想が実現した経過もあり、投資効果を考え、指定管理者と力強く推進してほしい。

課題に対する意見・提案等

開設から1年であり、コロナ禍においての試みであったこともあり、集客等においては限定的にならざるを得なかった側面は理解できるが、今後より発展し、市民や市を訪れる人たちが積極的に利用するためにはいくつかの工夫を重ねてみることも必要であるだろう。ひとつには、訪れるきっかけをより提供するために、古戦場駅や中央2号公園、イオン施設内に案内を増やし、人々を誘導するような対策を立てると良いだろう。公益施設のデザイン性を活かし、遊び心のある案内ができると良いと思う。公益施設内のカフェは素敵だが、気づかれにくく、とりわけ商業施設内に多くの飲食店がある中では利用されにくいように思う。隠れ家的な良さがあるのは確かだが、もう少し工夫した案内を表に出すと、人々を惹きつけやすくなるのではないかと思う。4つのテーマをもう少し明確に表に出し、イベントのない折にもふと訪れた人に何らかの知的好奇心を提供する機会が増えるのも良いだろう。子どもたちが水黒板やスタンプ、季節ごとの飾りつけを楽しむことができるように、学生や大人が目にしたたり、手に取ったり、読んだり、考えたりするものがより増えると良い。また、4つのテーマのイベントが個別に展開されるのではなく、できる限りリンクさせていくこと、長久手という町の特徴を生かしていくことで、より魅力的な場を提供することができると思う。

委員からのコメントにあったが、リリモテラスが何をやる施設なのか市民に分かりにくく、利用の敷居が高いように思う。また、商業施設や中央公園に隣接するものの、リリモテラス駅や駐車場からの人の動線から離れているため、人を誘導するような案内板などの工夫が一層望まれる。車で商業施設に来る人からも道路側から何の施設か分かりやすい表示や親

しみのある愛称も有効であろう。

成果指標である事業運営に関わる市民の数は延べ人数であり、同じ人が何回も運営に参加している場合、その実態の人数を表していない恐れがある。今後、新たに運営に参加する人を集計して、運営参加の広がりを調べるとよいと考える。

・中央二号公園にて、小牧・長久手の戦いの紹介と合わせ、棒の手保存会の演技会を実施することを提案します。

部屋の利用をもう少し柔軟に開放してほしいです。市民以外の訪れも想定し、観光案内などの強化も視野に入れてPRを強化した方がよい。デザイン的な建物なので芸大とのコラボなどポスターや展示物などに力を入れるとよいかと。